

- 日時 : 2002. 10. 5(土) 14:00~15:30
■場所 : 日本ビクター労働組合本部 勤労会館3F会議室

書記:西郷治男

1. 開会 [14:00]

- はじめに司会の鎌田孝雄氏より開会の挨拶が行われた後、あらかじめ準備委員会で用意した総会役員が提案された。出席者の多数の賛同を得て、議長に土屋真氏、書記に西郷治男が選出され、議長が登壇し、書記は役員席に着いた。

2. 総会成立

- 議長より、自己紹介と書記の任命が行われ、続いて今総会が成立していることが宣言された。(入会者:62名中、出席20名)

3. 準備委員会代表挨拶 [14:10]

- 準備委員会の菅沼代表より、今年2月から9月までの準備活動を中心とした経過報告と設立総会の主旨を含めて挨拶があった。

<挨拶要旨>

- ◆JVCシニアクラブは昨年から検討をはじめ、今年2月に第1回準備委員会を開催。当初は4/26に設立総会を計画したが、会社から大リストラ提案の状況下、延期せざるを得なくなった。そして6月末 1500 名の早期退職という厳しい現実で一応の決着を見て7月から準備活動を再開し、ここに総会開催の運びとなった。
- ◆シニアクラブは労組役員OBの皆さんには積極的に加入してもらうこととし、共済会の継続契約者にDM案内を出したところ、62名の入会者があった。その対象に設立総会の通知を出し、本日皆さんに集まっていた。本日は設立に必要な議案を提案させていただき、賛同いただいた上で正式にスタートさせたい。

4. 来賓挨拶 [14:20]

- 日本ビクター労組より、宮本委員長、関川書記長が出席。(委員長が代表挨拶)

<挨拶要旨>

- ◆今回の希望退職や工場統廃合などにより組合員も約 1000 名が退職し、現在の組合員数 7800 名は菅沼委員長時代の 14000 名の約半分となってしまった。
- ◆一方、会社の業績は上期決算見込みで、連結営業利益 80 億円と久しぶりの上方修正となり、ひと安心である。しかし、リストラによる守りの構造改革のメドはあったが、攻めの成長戦略がはっきりせず、喜んでばかりいられない状況である。

- ◆労組も年次大会が終わり、「新しい安心の創造」のスローガンのもと、新たな活動を展開している。そうした中であって、このシニアクラブの存在意義も大きい。
- ◆ビクター労組も大きな変化の時代となり、JAM会長に小出元労連会長を送り出し、横須賀市議選では井関こうじを擁立した。OBの皆さんもご支援願いたい。

5. 議事～報告及び審議 [14:30]

- 次の5議案について、各担当から提案説明があり、質疑・意見交換が行われた。

(1) 発足に至る経過報告と結成趣意書の確認に関する件(報告事項)

- 菅沼準備委員より提案。(議案書 2, 3ページ 参照)

- ・中央のJAMでは昨年 9 月にシニアクラブが結成された。傘下の地方JAMでも既に設立され、現在活動しているシニアクラブは 15 ある。これらJAMの受け皿としての活動も含め、JVCシニアクラブの地方会員を広げていきたい。

～拍手で承認。

(2) 規約規定に関する件

- 高石準備委員より提案。(議案書 4, 5, 6ページ 参照)

- ・第 4 条(活動と事業)は、JAM共済の傷害共済加入が大きな目玉である。
- ・第 5 条(会員の資格と権利、義務)は、60 歳以上の退職者には再雇用者も含む。
- ・第 8 条(総会)は、項目を追加。⑤として「役員、代議員の出席で総会を開催する。代議員は幹事会で 3 から 4 名に 1 名の代議員を選出する」
- ・第 10 条(役員)は、事務局次長に君塚副書記長が当たることになる。

<質疑>・橋本秀夫氏より「総会は年1回であり、会員が全員で顔を合わせる場として(会員数が少ない間は)全員が参加できるよう検討して欲しい。

- ・高石氏より回答「限られた予算で遠方会員の交通費などを考えると、全員集めるのは現実的に難しい。意見として今後検討していきたい」

～拍手で承認。

(3) 役員選出に関する件

- 百瀬準備委員より提案。(配布資料 別紙議案書 参照)

- ・会計監査に「天野 勲氏ならびに橋本秀夫氏」を追加し、別紙の通り提案された。

～拍手で承認。

(4) 平成15年度活動計画と予算案に関する件

- 菅沼準備委員より提案。(議案書 7ページ 参照)

- ・上部団体加盟費の(会費 500 円)の内訳は、JAM規約に基づき「中央 100 円、地方 400 円」という上納金である。
- ・活動予備費の 50000 円は、当面は入会活動促進に関する費用である。

～拍手で承認。

(5) JAM傷害共済への加入促進に関する件

- 菅沼準備委員より提案。(配布資料 JAMシニアクラブ事業案内パンフ 参照)
- ・ JAMで製作した「シニアクラブ事業のご案内」のパンフは、コストがかかっているため、入会案内と一緒に配布するのではなく、入会希望者に別途送付する。
～拍手で承認。

6. 新役員挨拶 [15:10]

- 役員を代表して、菅沼会長より今後の活動についての挨拶があった。
(全役員が自己紹介で挨拶したが、幹事:佐藤尚幸氏は都合により欠席された)
- ＜挨拶要旨＞
- ◆シニアクラブの対象者は定年退職者を中心に 2000 名近くいるので、ロコミを含めて入会活動をやっていく。また今後退職する人達については各支部役員に入会促進をしてもらわねばならない。今年度、まずは入会促進活動が第一である。
- ◆一方、会員相互の交流の場としても検討していく。特に、JAM神奈川は既にシニアクラブが活動中であり、積極的に参加いただきたい。東京、埼玉、大阪など地方の会員はJAMシニアクラブにも加盟し、全国に輪を広げていきたい。
- ◆JVC独自の活動としては寿会があり、活動がダブらない範囲で考えていきたい。

7. 閉会 [15:25]

- 議長、書記が解任、降壇したあと、司会より総会が無事終了したお礼と今後の協力要請の挨拶があった。その後、懇親会の案内があり、午後 3 時 30 分に閉会。